

計画事業番号	00417	事務事業名	粗大ごみリユース事業	担当部署	市民環境部環境課	電話	4106
--------	-------	-------	------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	循環型社会形成推進基本法第32条				
事務事業開始年度	平成24年度	個別計画等	北広島市地域循環型社会形成推進地域計画				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 3 章)	美しい環境にまつまれた安全なまち
	(第 2 節)	廃棄物対策の推進
	(施策 1)	ごみの減量化・リサイクルの推進
2 対象	市内の一般家庭から粗大ごみとして排出された家具等	
3 目的と内容	最終処分場の延命化を図るため、粗大ごみとして排出された家具等の修繕を行いリユースすることにより、埋め立てるごみを減量する。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	粗大ごみとして排出された家具等の修繕、清掃等を行い、市民に安価で販売し、リユースを行う(粗大ごみリユース業務委託の実施)。
	29年度	昨年と同様に、粗大ごみとして排出された家具等の修繕、清掃等を行い、市民に安価で販売し、リユースを行う(粗大ごみリユース業務委託の実施)。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
リユース業務委託 運営経費(需用費)	リユース業務委託 運営経費(需用費) 提供家具台数173台	リユース業務委託 運営経費(需用費)	リユース業務委託 運営経費(需用費)	リユース業務委託 運営経費(需用費)

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	粗大ごみとして排出された家具等を修繕、清掃し、市民に安価で提供することで、ごみの減量化、3R(資源の有効活用等)に対する市民意識向上が図られることから、引き続き事業を実施する。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			5,298		5,416		5,338		5,338	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	282		288		360		360	
		一般財源	5,016		5,128		4,978		4,978	
		① 合計	5,298		5,416		5,338		5,338	
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)		0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	
		③ 1人当り年間平均人件費		8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
		④ =②×③		1,680	0	1,680	0	1,680	0	
総事業費①+④			6,978		7,096		7,018		7,018	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①リユース抽選会開催回数	目標値	回	12	12	12	12
		実績値		12			
	②	目標値					
		実績値					
③	目標値						
	実績値						
④	目標値						
	実績値						
成果指標	① リユース家具提供台数 【指標の定義(算式等)】	目標値	台	240	240	240	240
		実績値		173			
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値					
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	粗大ごみとして排出された家具等を修繕、清掃し、市民に安価で提供することで、ごみの減量化、3R(資源の有効活用等)に対する市民意識向上が図られることから、妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	当初想定していた数量よりも、市民に提供した家具等は少なかったものの、抽選に申し込んだ人数を考えると十分に成果はあがっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	現在は、粗大ごみとして排出された家具等を中心に修繕、清掃を行い提供しているが、より多くの物件の提供に向けて、収集方法や事業の外部委託化などについて改善等を検討していく。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	この事業に要する経費のほとんどが家具等の修繕、清掃に係るものであり、コストの削減は、単に提供する家具等の品質の低下だけでなく、提供する数に影響を及ぼすことから難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり <input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。